

北海道黒毛和種枝肉共励会 町有牧野の黒毛和牛が名誉賞



10月4日、帯広市内で開催された第11回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会で、町有牧野で肥育された「北茂安乃大福」が、最高位である名誉賞を受賞、参加した117頭の頂点に輝きました。産業課牧野係の清川係長は、「地元生産者と一緒を進めてきた改良の成果が高く評価され、とてもうれしいです」と笑顔で話してくれました。

新冠・大狩部大ウオーキング開催



10月4日、にいかつぷ観光協会50周年記念事業の一環として、大狩部地区を会場としたウオーキング大会が実施され、町内外から約80名の参加者が集まりました。今回設定されたコースは全長約7キロで、太平洋を臨む牧草地が含まれるなど、大狩部ならではのコースとなっており、参加者たちは、新しい町の魅力を満喫していました。

スノードラゴン号 スプリングステークス制覇



10月5日、新潟競馬場で行われた第48回スプリングステークスで、明和のイワミ牧場で生産されたスノードラゴン号が接戦を制し、GI初優勝を成し遂げました。スノードラゴン号は、ゴール手前で各馬を差し切り、半馬身差をつけて勝利しました。また、イワミ牧場にとってもGI初勝利となり、記念すべき一戦となりました。

町民乗馬の集い 乗馬体験に長い列



10月19日、レ・コードパークで新冠乗馬連盟（長浜和也会長）主催による町民乗馬の集いが行われ、約130名が乗馬体験を楽しみました。今年の集いには、にいかつぷホロシリ乗馬クラブから6頭のサラブレッドが用意されましたが、天候に恵まれたこともあり、午前中から小学生や親子連れが多数訪れ、順番待ちの列を作りました。

新冠町民文化祭 芸能発表会・総合作品展



10月18日、レ・コード館町民ホールで、新冠町文化協会（鹿野慎二会長）主催による第45回新冠町民文化祭芸能発表会が開かれ、17団体が出演し、日頃の練習の成果を発表しました。発表会は、新冠少年判官太鼓の演奏で幕を開け、ダンスや舞踊、民謡や合唱などが披露され、最後に、市民劇団ど・こーれ新冠の発表で3時間にわたる発表に幕を閉じました。また、24日から26日の3日間は、

同会場で総合作品展が開かれ、書道や絵画、陶芸作品のほか、小学生や福祉施設の作品など781点が展示され、3日間で634名が会場を訪れました。



親子で楽しむ秋のイベント！ 第4回秋のおたのしみひろば

10月19日、町民センター大ホールで、教育委員会主催による、秋のおたのしみひろばが開かれました。

親子で一緒に楽しめるイベントとして人気のあるこの企画には、今年も230名の親子が参加し、会場は、来場者で埋め尽くされました。

会では、びつくり箱の絵本の読み聞かせや日高町のウインドアンサンブルポニーの歌と楽器の演奏、最後にキンダーハウスによるお話し会が行われま



した。また、会終了後には、新冠町女性コミュニティが準備した手作りおやつが提供され、子どもたちは笑顔で受け取っていました。

祝・全国制覇！ 長崎国体少年団体馬術競技優勝



10月20日、長崎県雲仙市で開催された長崎国体の少年団体馬術競技で、新冠町在住の3選手が北海道代表として出場し、優勝を飾りました。北海道代表選手として出場したのは、小山達平さん（静内農高3年）、山島龍一郎さん（新冠中3年）、榎川徳都さん（静内高1年）で、決勝戦を僅差のタイムで競り勝ち、優勝を決めました。

社会福祉法人 新冠ほくと園 創立20周年記念式典・祝賀会開催



10月20日、レ・コード館町民ホールで、社会福祉法人新冠ほくと園創立20周年記念式典が開かれ、関係機関や福祉団体などから144名が祝いに駆けつけました。式典では、前山佳弘理事長が式辞を述べ、その後、永年にわたり園の運営に貢献されてきた企業や自治会など16団体と2個人に感謝状が授与されました。

東京新冠会

創立30周年記念総会開催



10月26日、東京都内で東京新冠会創立30周年記念総会が開かれ、関係者ら52名が出席し、当町からも町長や議会議員など13名が参加しました。東京都内やその近郊に居住する新冠にゆかりのある人で構成する当団体は創立30周年を迎え、今年には記念事業の一環として、7月に新冠町を訪れる「ふるさと訪問」などを行ってきました。

北海道警察音楽隊・カラーガード隊 ふれあいコンサート in 新冠



10月30日、レ・コード館町民ホールで、交通安全啓発のふれあいコンサートが開かれました。コンサートでは、最初に音楽隊が「聖者の行進」など6曲を演奏し、その後、ステージドリル「ミュージックパトロール2014」と題し、カラーガード隊が加わり、息のあったドリル演技を披露しました。